

# 栗原地域だより

第9号

平成25年9月2日発行

## 目次

- 仙台市一番町で「くりはら産品フェア」を開催します！ p1
- OM：もっと、M：儲かる、N：農業塾（MMN塾）開講記念講演会を開催しました p2
- 今年もアフリカのマラウイ共和国から研修生がやって来ました p2
- 第8回栗原市畜産共進会が盛会のうちに終了しました p3
- 復興植樹の植栽木の活着良好！ p4
- 栗原イベント情報（9月・10月） p4
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p5

### 栗駒山の紅葉



## 仙台市一番町で「くりはら産品フェア」を開催します！

～栗原の食材展示販売会～

地方振興部

栗原市内の農家・食品加工業者が連携して開発した加工食品などを、仙台市一番町でPR・販売する「くりはら産品フェア」を、当事務所主催で開催します。

本イベントは、生鮮食品のほか、栗原市内の食品製造会社が結成した「くりはらさんプロジェクト」による数多くの加工品、栗原伝統の味「しんこもち」や新たな郷土料理「そばだんご」、栗原が北限の産地である「れんこん」など、栗原地域ならではの逸品が目白押しです。また、栗駒山麓で育ったとおきのお米「やまのしずく」もPRします。

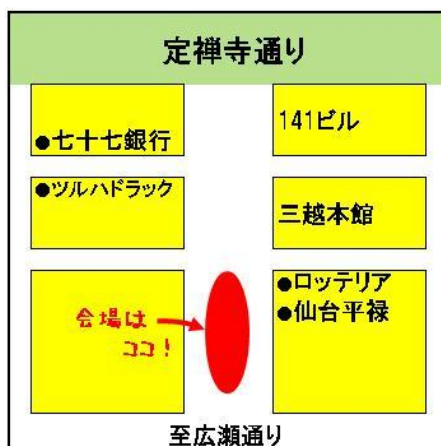
これを機に、栗原の食材を楽しんでみませんか？

- 日時 9月14日（土）～15日（日）10時～16時
- 10月26日（土）～27日（日）10時～15時30分
- 11月16日（土）～17日（日）10時～15時30分

場所 仙台市一番町四丁目商店街（歩行者専用道路）



去年の様子



開催場所



メイン坊やも一緒にPR！

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel：0228-22-2195

## M：もっと、M：儲かる、N：農業塾（MMN 塾）開講記念講演会を開催しました

農業振興部

今日の農業を取り巻く状況が厳しい中、個別、組織経営体を問わず、課題解決のための知識や手法を、経営者や構成員が主体的に学んでいくことが求められています。このことから、当事務所では栗原市、農協と協力して、受講者が多くのカリキュラムの中から必要な講座を選択できる「くりはら MMN 塾」を開講することとしました。

開講にあたり、平成25年8月19日（月）にエポカ21（栗原市志波姫）において、東北大学大学院農学研究科 伊藤房雄教授を講師にお招きし、記念講演会を開催しました。

当日は、栗原市長、JA 栗っこ組合長をはじめ、市内のリーダーとなる生産者や集落営農組織、新規就農者など61名の参加がありました。冒頭に当事務所から、「くりはら MMN 塾」開講の狙い、カリキュラムの内容などについて説明し、その後に伊藤教授から「経営の発展に、今、必要なこと」と題して講演を頂きました。「夢、目標、理念の実現には変化する外部環境との調整が必要であり、経営の発展には投資の時期や規模を見誤らないように常に経営数値を把握することが重要である。そのためにも MMN 塾を活用して欲しい」とのお話を頂いたほか、TPP 問題や地域農業の発展など、参加者と様々な意見交換が行われました。

「くりはら MMN 塾」は、単に学ぶだけでなく、ネットワークづくりの大切な場であることから、講演会終了後、参加者による情報交換会を開催し、交流を深めました。

当事務所では、8月22日（木）に開催された複式簿記講習会を皮切りに、今後カリキュラムを順次実施していく予定です。



研修会の様子

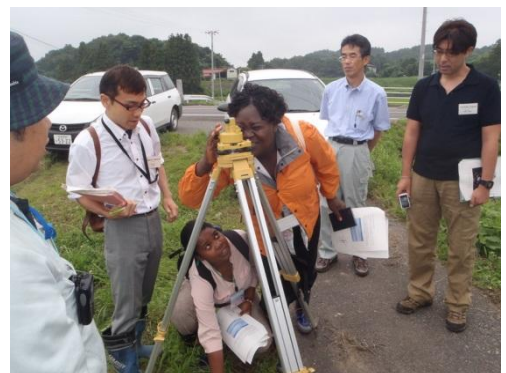
■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel：0228-22-9437

## 今年もアフリカのマラウイ共和国から研修生がやって来ました

農業農村整備部

昨年に引き続き、マラウイ共和国から当事務所に研修生がやってきました。マラウイ共和国は、アフリカ大陸南東部に位置し、農業が主たる産業の国です。今回水開発灌漑省から研修生としてやってきたのは、メアリー・チコレさん(30)とグレース・ワニさん(24)で、7月16日から26日までの研修期間のうち7日間を栗原で学びました。

宮城県では、平成23年から3年間、マラウイ共和国デッサの農業水利技術者を育成する支援活動を行っており、今回はその一環として、県内を中心に約1ヶ月間の研修を行いました。当事務所では、小規模農業用取水施設の改修を教材として、現地測量から設計、製図までの一連を実習しました。中でも、測量実習ではトータルステーション<sup>\*1</sup>などの



現地測量実習

最新機器や、測量成果の図化にはCAD※2を使用し、質問をしながら、熱心に学んでいました。また、工事の施工管理については、写真による記録と管理に重点を置いた結果、施工管理写真を各種レポートに活用していきたいと語っていました。

短期間の研修でしたが、帰国後、研修の成果を発揮し、マラウイ共和国の農業発展に貢献できることを期待しています。

※1 トータルステーション…測量機器の一つで、距離と角度を同時に観測することができる。

※2 CAD…コンピューターを利用して設計を行うこと。

■お問い合わせ 農業農村整備部 農地整備第一班 Tel: 0228-22-2401

## 第8回栗原市畜産共進会が盛会のうちに終了しました

畜産振興部

第8回栗原市畜産共進会【乳用牛・肉用牛の部】（主催：栗原市農業振興協議会）が7月6日（土）に、JA 栗っこ畜産センターで開催されました。出品頭数は、乳用牛が26頭、肉用牛が重複審査を含む延べ60頭でした。この共進会は、栗原市の家畜飼養管理技術並びに改良水準を広く示し、改良増殖を推進するとともに、畜産振興発展に貢献することを目的としています。今年もこれらの点が十分に理解され、「いずれも発育が良くバランスも優れた出品畜」と審査委員長より報告されました。

また、9月には宮城県総合畜産共進会、さらに2017年には第11回全国和牛能力共進会が宮城県で開催されるため、生産者からは畜産に対する意識の高さを示すべく、例年以上の意気込みが感じられました。

上位入賞者は下記のとおりです。

団体賞 第1位 栗駒高原和牛改良組合

乳用牛の部（名誉賞） 砂金 篤孝（築館）

肉用牛の部（名誉賞） 栗駒高原和牛改良組合

乳用牛の部（最優秀賞） 育成1区 砂金 篤孝（築館）

育成2区 鈴木 義博（一迫）

育成3区 (有)小山牧場（一迫）

経産1区 野村 泰仁（花山）

経産2区 (有)小山牧場（一迫）

肉用牛の部（最優秀賞） 若雌1区 三浦 悟（金成）

若雌2区 高橋 時夫（栗駒）

経産区 伊藤 慶博（栗駒）

繁殖雌牛群区 栗駒高原和牛改良組合

高等登録群区 金成和牛改良組合

父系群区 栗駒高原和牛改良組合



乳用牛の審査



肉用牛の審査

■お問い合わせ 畜産振興部 畜産振興班 Tel: 0228-22-2487



## 復興植樹の植栽木の活着良好！

～「栗原の森林・自然・きのこ生産現場見学会」で植えました～

林業振興部

平成20年岩手・宮城内陸地震により栗駒山周辺の国有林、民有林では、大規模かつ多数の崩壊、地滑りが発生しました。6月29日（土）の「栗原の森林・自然・きのこ生産現場見学会」では、その一つである栗原市栗駒耕英、冷沢（ひやしざわ）の現場を見学するとともに、参加者全員で復興植樹を行いました。

今回の植樹では、耕英地区に育っている樹種、いわゆる在来樹種のブナ、ヤマボウシ、ウワミズザクラ、ハウチワカエデなど合わせて22種42本の木を植えました。現場は重機による盛り土で、土が硬くやせているため、植穴を掘った後に培養土を施し苗木を植え、最後に水やりをしました。参加者は、植え方に苦



植樹の様子

労しながらも「あらためて自然の恐ろしさを知った。現場を見ることができてよかった」「来年も開催されれば植樹に来たい」、「広葉樹の植樹会は良い思い出です」と話していました。

7月19日（金）に植栽した現場を確認したところ、全ての木が活着していました。被災し裸地化した森林を全部植栽するには相当の時間を要しますが、全山が緑に覆われるまで皆さまとともに頑張っていきたいと思います。

■お問い合わせ 林業振興部 林業振興班  
Tel : 0228-22-2381

## 栗原イベント情報（9月・10月）

地方振興部

日にち	イベント名	地域	日にち	イベント名	地域
9/1(日)	築館朝市	築館	10/6(日)	第20回 金田森フェスティバル	鶯沢
9/5(木)	東北神楽大会	栗駒	10/8(火)	築館互市	築館
9/8(日)	栗駒耕英岩魚祭	栗駒	9(水)		
9/8(日)	くりでん乗車会	若柳	10/12(土)	岩ヶ崎互市	栗駒
9/8(日)	とっておきの音楽祭inくりはら	若柳	13(日)		
9/14(土)	くりはら産品フェア	仙台市	10/13(日)	栗原「秋・夢まつり」大空と遊ぼう!	瀬峰
15(日)			10/13(日)	いちはさま新米まつり	一迫
9/15(日)	築館朝市	築館	10/13(日)	第25回 花山湖秋まつり	花山
9/15(日)	みんなであわせになるまつり	栗駒	10/19(土)	平野神社例大祭	若柳
9/21(土)～	弘前工芸協会展	志波姫	20(日)		
9/22(日)			第6回くりはら万葉祭	10/26(土)	くりこま春夏秋冬「秋の市」
	-土と火のまつり-	一迫	27(日)		
9/23(月)	第十二回志波姫人形感謝祭	志波姫	10/26(土)	若柳互市	若柳
			27(日)		
9/28(土)～	能面「菅原夢玄の世界」	志波姫	10/30(水)	高清水互市	高清水
30(月)					

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel : 0228-22-2195



農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

(平成 25 年 6 月 22 日～8 月 22 日)

農業振興部・林業振興部

6 月 22 日から 8 月 22 日までの間に農林産物 55 点を簡易検査したところ、すべて基準値（100 ベクレル/kg）以下でした。市場に流通している食品は安全ですので、安心してお召し上がりください。

これから食欲の秋を迎え農林産物がおいしい季節がやってまいります。しかし、野生きのこについては、全国の 10 県で出荷制限が指示され、2 県で出荷自粛が要請されています。宮城県でも栗原市と大崎市に出荷制限指示が出されています。野生きのこは高濃度の放射性物質が検出されることがあるため、安全が確認されていない野生きのこの採取は控えるようにお願いします。

なお、食用きのこに非常によく似たツキヨタケ等で食中毒事故が起きていますので、知らない野生きのこは絶対に食べないようにお願いします。

☆簡易検査の測定値が基準値以下であったもの

農産物				農産物			
品名	点数	施設	露地	品名	点数	施設	露地
いんげん	2	—	◎	チンゲンサイ	1	—	◎
うめ	4	—	◎	トマト	2	◎	◎
えだまめ	2	—	◎	なす	2	—	◎
かぼちゃ	8	—	◎	にんにく	1	—	◎
ゴーヤ	1	—	◎	ピーマン	1	◎	—
キャベツ	2	—	◎	とうもろこし	1	—	◎
きゅうり	4	—	◎	ブルーベリー	3	—	◎
サニーレタス	1	—	◎	まくわうり	1	—	◎
さやえんどう	1	—	◎	もも	1	—	◎
じゃがいも	3	—	◎	ゆうがお	1	—	◎
ズッキーニ	4	—	◎	らっきょう	1	—	◎
大根	3	—	◎	りんご	1	—	◎

林産物				
品名	点数	施設	露地	野生
サルナシ	1	—	—	◎
ふぎ	1	—	—	—
マタタビ	1	—	—	◎

◎：基準値以下    —：検査未実施

■お問い合わせ

農業振興部 先進技術班（農産物について）

Tel：0228-22-9437

林業振興部 林業振興班（林産物について）

Tel：0228-22-2381

※放射性セシウム濃度基準値

食品群	基準値(1kg あたり)
飲料水	10 ベクレル
乳児用食品	50 ベクレル
牛乳	50 ベクレル
一般食品	100 ベクレル

詳しくは厚生労働省 HP をご覧ください。

([http://www.mhlw.go.jp/shinsai\\_jouhou/shokuhin.html](http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html))

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 Tel：0228-22-2195(直通) Fax：0228-22-6284

E-mail：[nk-khsinbk@pref.miyagi.jp](mailto:nk-khsinbk@pref.miyagi.jp)

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

※次号（第 10 号）は 11 月 1 日発行予定です。



むすび丸

笑顔咲くたび  
伊達な旅  
仙台・宮城

Sendai & Miyagi, where smiles blossom